

スポーツYAMATO

新海2冠

タイトル争い

リーグ前半戦終了 堂々の5連勝首位快走



第2節3日目のMVPを獲得し、インタビューを受ける新海雪奈。この日は4打点を挙げる活躍。2節を終了し、打率、打点の2冠を独走中。昨年逃した本塁打も視界に入っており、夢の3冠王獲得なるか？後半戦に向けて期待が膨らむ。

前半戦は打ってよし守ってよし

投手陣

リーグ戦の前半戦が終了し、大和電機は5戦全勝でプラチナリーグ首位を独走。全ての試合で打撃面では5点以上取り、守備面では2点差以内を抑えると言った理想的な展開で、まさに、「打ってよし守ってよし」言う事なしの状態だ。投手陣を見てみると右のエース大串都未希の安定感は抜群打たれても簡単に点を取られない粘りのピッチングが出来るようになった。第2節のMORI戦は初回から3回まで再三ピンチに襲われたが、無失点で切り抜けた。1点でも取られていたら完全に相手ペーシの試合になっていただけにこの試合に先封した大串のピッチングは見事だった。一方、左のエース斉藤未来は今季急成長を遂げたと言えるだろう。花咲徳栄高校ではエースとしてインターハイに導いた実力者が本領を発揮したのは、第2節YKKとの一戦だった。

6回1死までノーヒットノーランに抑え、偉業達成かと思わせたが、その後安打を許したが、7回を1人で投げ切り宿敵を完全に封じたピッチングは見事だった。また、翌日のVONDS戦も流れが悪いと判断した杉野監督は大串から斉藤にスイッチ。斉藤はホームランで1点は失ったが、チー

ムは7回に逆転し、最後まで投げ切り勝利投手となり、2節は2勝をあげた。北山が抜け、大串に次ぐ投手の存在が不安視されたが、斉藤が独り立ちし、2枚看板として十分戦えるようになったことが5連勝の原動力になった。投手ランキングでは、大串が防御率1位、斉藤は最多勝1位となっている。

打撃陣

前半戦は1試合平均10点をあげてどの試合も打って勝った印象が強く、打撃陣は絶好調のまま前半戦を終了した。特に手がつけれない活躍を果たしたのは3番を打つ新海雪奈だ。前半戦を終えて、打撃部門では2冠、本塁打も1本差と迫り、夢の3冠王も視界に。打率は7割越えと驚異的な数字、打点も14打点を稼ぎ相手投手にとっては怖い存在だろう。後半戦は徹底的にマークされる事は覚悟しているだろうが、後を打つバッターも好調なだけに逃けているだけではダメだろう。6番を打つ堀あかねは現在、3本塁打とキング争いのトップ。打点も新海に次ぐ2位、打率も3位とこちらも3冠王に手が届く位置に。第2節前は不振が伝えられ、不安もあったが、2

本塁打を放った。球種を絞って狙い球を打ち損じない強さが堀にはあるのでこれから本塁打を量産していきなそう。新海とのキング争いに注目だ。打率3位には同率で村井聖那も続く。打順は9番だが、足もあり、小技も出来るので好調の上位打線に繋ぐ役割を十分果たしている。やる事を明確にしたバッティングに徹していけばもっと率を残す事が出来るだろう。

打率ランキング		本塁打ランキング		打点ランキング	
1	新海雪奈 (大和電機)	0.706	1	堀あかね (大和電機)	3本
2	上村 麗 (MORI)	0.667	2	大内満里奈 (YKK)	3本
3	堀あかね (大和電機)	0.500	3	新海雪那 (大和電機)	2本
3	村井聖那 (大和電機)	0.500			
防御率ランキング		最多勝ランキング		勝率ランキング	
1	大串都未希 (大和電機)	0.48	1	斉藤未来 (大和電機)	3勝
2	斉藤未来 (大和電機)	1.37	2	大串都未希 (大和電機)	2勝
3	中野花菜 (MORI)	0.500	3	中野花菜 (MORI)	2勝
1	新海雪那 (大和電機)	14点	1	大串都未希 (大和電機)	1.000
2	堀あかね (大和電機)	9点	2	斉藤未来 (大和電機)	1.000
3	大内満里奈 (YKK)	8点	3	中野花菜 (MORI)	0.667